



たのしい絵本と紙しばいの会

- ・ 2月18日(木) 午前10:30～
- ・ 3月4日(木) 午前10:30～
- ・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室
小さいお子さまのためのおはなし会です。
親子で一緒に過ごしてください。



婦人ボランティアのおはなし会

- ・ 2月21日(日) 午前10:30～
- ・ 3月13日(土) 午後2:00～
- ・ 場所 小川公民館 2階
馬頭図書館 児童室
おはなししょうずなボランティアさんが昔ばなしの絵本や紙しばいを読んでくれます。

あきやまただしさんの「絵本ライブ」

- ・ 2月28日(日) 午後1:30～午後3:00
- ・ 「まめうし」シリーズや、「パンツばんくろう」など、たくさんの代表作を持つ人気絵本作家、あきやまただしさんがやってきます！
- ・ ギターなどの小道具を使って、楽しい絵本ライブを行います。サイン会も実施しますので、本をお持ちの方はご持参ください。
- ・ 場 所：小川総合福祉センター すこやか共生館
- ・ 参加費：無料 ・ 定員：150名
- ・ 申込先：馬頭図書館 ☎0287-92-5015

馬頭図書館・小川図書館の休館日 (2/16～3/15)

共通：2月28日(日)

馬頭図書館休館日

2月22日(月)
3月1日(月)、15日(月)
3月8日(月)～12日(金)
は館内整理のため休館

小川図書館休館日

2月19日(金)、26日(金)
3月5日(金)、12日(金)



今月の表紙
思い出のタイムカプセル
成人式の会場にて、元馬頭小学校6年2組のクラスの皆さんが、8年前に書いた作文や思い出の品などを詰めたタイムカプセルが開けられ、本人に返されました。
当時、子どもだった自分から大人になった自分へのプレゼントに、皆さん照れながらも、懐かしそくに、当時の思い出話に花が咲いていました。

なかよしひろば

- ・ 2月18日(木) 午前10:00～
折り紙でおひなさまをつくりましょう。
- ・ おやつ代 50円
- ・ 参加申し込み 2月14日(日)まで

生け花教室

- ・ 2月20日(土) 午後1:30～
もうすぐひなまつり。桃の節句のお花を生けましょう。
- ・ 花代 700円 ・ 申し込み 2月14日(日)まで
(会員以外でやってみたい方)

科学あそびをしよう

- ・ 2月27日(土) 午前10:00～
- ・ 内容 スライムを作ろう他
- ・ 参加費 無料
- ・ 参加申し込み 2月25日(木)まで



なかよしひろば

- ・ 3月3日(水) 午前10:00～
ひなまつりごっこをしよう。
- ・ おやつ代 50円
- ・ 参加申し込み 2月27日(土)まで

窓ガラスを飾ろう

- ・ 3月13日(土) 午前10:00～
スタンドグラスシートを好きな形に切って飾りましょう。
- ・ 参加費 無料

生け花教室

- ・ 3月13日(土) 午後1:30～
フラワーアレンジメントをしよう。
- ・ 花代 700円
- ・ 申し込み 3月9日(火)まで
(会員以外でやってみたい方)



チャレンジクッキング

- ・ 3月14日(日) 午前9:30～
ふわふわヨーグルトムースを作ります。
- ・ 参加費 50円
- ・ 参加申し込み 3月12日(金)まで
- ・ 持ち物 エプロン、三角巾 ※爪を切って来てね。

閉館時間変更のお知らせ

3月1日より小川児童館は、午後5時閉館となります。

「児童館」 2月16日～3月15日 のお休み

日	月	火	水	木	金	土
		2/16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	3/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15					

閉館時間 午前9時～午後4時
(3月より午後5時まで)
☎0287-96-3109

漢字文化の広がり

もともと文字をもたなかった日本人が初めて触れた文字文化は、中国を起源とする「漢字」です。紀元五七年、後漢の光武帝に朝貢した倭の奴国王が授けられた金印に代表されるように、中国との外交のはじまりがそのきっかけでした。

しかし、日本国内で漢字が使われるようになったのは約四百年後のことです。最も古い資料は千葉県稲荷台一号墳から出土した鉄剣で、「王賜」の文字が刻まれています。また、埼玉県稲荷山古墳の「辛亥年」銘鉄剣や熊本県江田船山古墳の鉄刀などから、国内の政治の中で漢字が使われ始めたことがわかります。

七世紀後半から八世紀（一四五〇～一三〇〇年前）にかけて中央集権的な国家体制が整えられていく中で、文書を用いた情報伝達が本格的に行われるようになり、漢字の使用はさらに浸透していきます。

律令体制下での漢字の使用

は役所や寺院が中心で、読み書きができたのは限られた人々だけでした。では、一般の人々はどうのようにして漢字を使うようになったのでしょうか。その手がかりとなる資料の一つが「墨書土器」です。

墨書土器は、墨で文字や記号、絵画が書かれた土器です。

七世紀に中央の宮都や寺院に出現し、八世紀には地方の役所や寺院へ普及します。そして、九世紀から十世紀にかけて一般集落にも広まりました。

土器に記された文字は一字から二字が主流で、人名や地名、神仏、吉祥句、用途などが考えられています。特に集落では、文字そのものを信仰の対象とした様子が見え、呪術的な面から人々に浸透していったと考えられています。

那珂川町内では、那須官衙遺跡で「万」、駒形六号墳周辺遺跡では、役所の施設を表す「南曹司」、温泉神社北遺跡では現在の「谷

田」につながる地名ともみられる「矢田」や吉祥句の「長吉」などが出土しています。

また、昨年調査が行われ、古墳から平安時代（六世紀～十世紀頃）の集落跡が確認された久那瀬の舟場平遺跡でも墨書土器が出土しました。中でも「梨本」と書かれたものは大田原市の小松原遺跡でも出土しており、注目される資料です。

那珂川町でも、政治・文化の中心から徐々に一般集落へと漢字文化が広がる様子が見えます。そこに記された多くの文字は、新たな郷土の歴史を発見するきっかけを与えてくれるのかもしれない。

舟場平遺跡の資料は、現在小川館で開催中の巡回展で展示しています。最新の発掘調査成果を是非ご覧ください。

（なす風土記の丘資料館）

学芸員 秋谷 沙織



舟場平遺跡出土 墨書土器「梨本」

うぶごえ

（氏名）（父母の名）（住所）

檜山 尚希 雅弘 馬頭
市村 蒼楽 典雄 馬頭
由美子
綾正 子嗣 小砂

おくやみ

（氏名）（年齢）（住所）

深澤 タマ (91) 馬頭
笠井チト子 (66) 馬頭
齋藤 三吉 (90) 馬頭
田中 利男 (86) 馬頭
笹嶋 ミツ (82) 馬頭
坂本 チカ (93) 馬頭
菊池 アキ (95) 馬頭
藤田 勝美 (89) 馬頭

岡 利夫 (83) 小口
古内 初意 (82) 小口
和知 照夫 (80) 北向田
山本タネ子 (85) 久那瀬
関口 錦六 (84) 松野
荒井 政男 (84) 富山
高野 定雄 (82) 富山
川和 トシ (86) 大内
柳谷 智能 (83) 大内
栗野 榮一 (74) 大内
岡山 フミ (82) 大田下郷
小船シヅ子 (82) 大田下郷
小口 作二 (87) 大田下郷
小口 力 (71) 大田下郷
北條 勝 (77) 大田上郷
佐藤 トミ (98) 大田上郷
大金 義正 (82) 小砂
須藤 正雄 (55) 小砂
横田キノイ (79) 小川
市村 敏 (87) 小川
薄井 チ工 (95) 小川
竹川 武雄 (64) 小川
棚橋 房子 (76) 小川
薄井 武勝 (82) 小川
田所タメノ (85) 小川
竹田 喜八 (94) 谷田
小口 ノブ (82) 片平
郡司サト子 (77) 三輪
寺澤 達雄 (80) 恩田

2月1日現在の人口

（住民基本台帳）

男 9,728人（-5）
女 9,689人（-16）
計 19,417人（-21）
世帯数 6,092（-2）

（ ）内は前月との比較

掲載は希望者のみです。

12月21日～1月20日
受付分 敬称略